

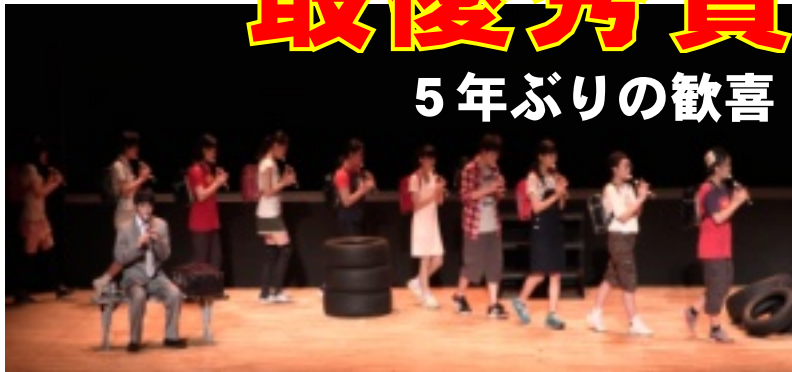


スポーツの秋
文化の秋
読書の秋
食欲の秋
受験の秋 etc.

三高実りの秋

最優秀賞

5年ぶりの歓喜



(10月29日 加茂文化ホール ラメール)

三高文化部の言葉
ことだま



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第113号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

つながるチャレンジと「役立ち感」
不平不満から広がるポピュリズム(例えば大衆迎合主義と訳される)に世界中が呑みこ

地味ではありません!地道なんです!三高文化部は今年も輝いています



最近の三高文化部は「地味にスゴイ!」とも言われますが...

演劇

第40回島根県高等学校演劇発表大会

(10/29~31, ラメール)

『笛男〜フエオトコ〜』中国大会出場へ

9月の出雲・石見地区予選を経て出場した10月末の県大会で、『笛男〜フエオトコ〜』(脚本/亀尾佳宏)を演じた本校が最優秀賞に輝き、岡山県の総社市総合文化センターで開催される中国大会への出場権を獲得した(県2枠)5年ぶりの快挙だ。

2年生7名、近年では最も多い男子5名を含む1年生13名の計20名が一丸となって練習を続けてきた。

【高野愛(2年) 部長談】

「5年ぶりの中国大会出場となりました。感謝の気持ち忘れず、本番のステージには全力で挑みたいと思います。」(大会前のコメント)

速報

演劇中国大会優秀賞(11校中4位相当)
全国大会出場ならずも感動のステージ!

書道

第49回島根県高等学校書道展

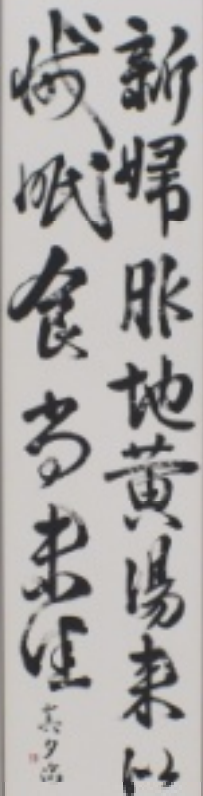
(10/27~30, 県立美術館)

▼優秀賞に渡部さん(2年)

標記書道展には県内24校から174点が寄せられ、次年度の全国高校総合文化祭への

出品推薦(1、2年生から3点)入りはならなかったものの、これに続く優秀賞5点に

渡部真夕さん(2年)の「臨地黄湯帖」も選出され、各校1名の奨励賞には西村美夏さん(3年)の「臨九成宮醴泉銘」が選ばれた。



積文/新婦服地黄湯来似減眠食尚未佳

題名にある地黄湯(じおうとう)とは漢方薬湯がなかなか効かず心配し、また、謝生(しゃせい)という人物がまだ帰ってこないことを問い合わせようとしている手紙である。

(編集長記)

まれそうなく、ここ雲南では、現実社会の厳しさの中にあっても創造的でアクティブなチャレンジが一層輝きを増している▼高齢化率では日本の25年先を進む雲南市では、地域自主組織のアクティブなプレーヤーを次々と生み、つながりをもって裾野の広い活動を展開している。地域課題解決に向けた「子ども×若者×大人」のさまざまなチャレンジを報告しあった大交流会が10月15日、16日の両日に開かれ、全国からの視察も相次いだ(その一部を前号で紹介)▼10月26日には、第4回プラチナ大賞が発表され、全国の自治体や企業等54団体の応募の中から雲南市の「幸雲南塾(大人版)」(大人版)が若者チャレンジによる持続可能なまちづくりへの挑戦」が最上位の「プラチナ大賞」及び「総務大臣賞」を受賞した▼地域の課題解決につながる活動と人材を育成する幸雲南塾(大人版)も早や6期生が奮闘中。先日は、高齢者の縫製技術を活用する「縁結びパンツ」を商品化する塾生(東京都在住20代女性)の依頼を受け、商品に添える礼状に掲載する木次線の写真を写真部が提供した。一つのチャレンジにつながって貢献する「役立ち感」を、部員もちよび感じることができた。つながろう雲南! 今号のキーワードは「役立ち感」!

今号の記事は11月25日分までです



優勝

県高校新人戦男女アベック優勝 全国選抜大会(3月)出場権獲得

ソフトボール

島根県高校新人大会

(10/22~23、出雲高校)



会長も快調!

【男子】
▼決勝
三刀屋⑦・0安来
(5回コールド)
※2年連続17度目の優勝

【女子】
▼1回戦
三刀屋⑩・0大社



(5回コールド)
▼準々決勝
三刀屋⑨・5出雲商業
▼準決勝
三刀屋⑦・0大東
(5回コールド)
▼決勝
三刀屋⑫・1浜田商業

ソフトテニス



6年ぶりの団体ベスト8

島根県高校新人戦

(10/28~30、浜田市・江津市)

個人戦ベスト32にも2ペア 年末のインドア選手権出場へ

女子団体は平成22年の島根県高校総体優勝以来、6年ぶりにベスト8入りを果たした。ベスト8進出を懸けた安来高校との対戦では、2対戦目を

女子

年ぶりのエイト入りを称えたい。また、女子個人戦でベスト32に入った2ペアは、年末に松江市の鹿島総合体育館で開催されるインドア選手権への出場権を得た。

【団体】
▼男子1回戦
三刀屋1・②横田
▼女子1回戦
三刀屋②・1出雲商業
▼女子2回戦

三刀屋②・1安来
▼準々決勝
三刀屋0・②松江西
【個人】
▼男子
上位進出ならず
▼女子
2回戦進出
島奈瑠美・佐々木愛(2年)
3回戦進出(ベスト32)
菅田野衣・中林楓香(2年)
若槻真依・土谷美蘭(1年)

(5回コールド)
※8年連続14度目の優勝
※男女ともに、3月の全国高校選抜大会(男子/福岡県北九州市、女子/兵庫県加古川市)への出場権を獲得。
また、今大会の男女1~2位校は、11月11日~13日に島根県で開催された中国新人大会に出場した。

中国地区高校新人大会

(11/11~13、雲南市・出雲市)

男女ともに先制するも初戦突破ならず

地元開催で上位進出を狙った三高男女は、ともに初回表に得点しながらも逆転負けを喫して初戦突破はならなかった。

【男子】

▼1回戦
三刀屋2・③東岡山工業 (岡山)
【女子】
▼1回戦
三刀屋4・⑨中村女子 (山口)

快挙! 三高男子が全勝優勝

県男子ソフトボールリーグ

4月にスタートした標記リーグ戦は、安来高・三刀屋高にクラブチームを加えた計6チームが10月まで総当たりで熱戦を展開。一昨年の壮年大会で全国優勝した木次ミステリーズにも勝利した三刀屋高校が初の全勝優勝を飾った。

バスケットボール
島根県高校選手権
(11/4~5、
松江市総合体育館)

男女ともに初戦突破
【男子】
▼1回戦
三刀屋⑥①・47出雲西
▼2回戦
三刀屋56・⑧松江北

水泳

中国高校新人戦 (10/22~23、山口市)

中国大会8位入賞

吉川さん(2年)

▼男子200M平泳ぎ
8位 吉川航輝

2分29秒30

▼男子100M平泳ぎ
9位 吉川航輝
1分08秒37

野球

出雲地区1年生大会

(10/22、三刀屋高校)

▼1回戦
三刀屋2・④大社
今大会優勝校に惜敗

【女子】
▼1回戦
三刀屋④⑦・33隠岐
▼2回戦
三刀屋56・⑧松江北

▼1回戦
三刀屋40・⑧松徳学院

バレーボール

県高校選手権

【女子】
 ▼1回戦
 三刀屋②・0島根中央
 ▼2回戦
 三刀屋1・②情報科学



(11/11、12、情報科学高校)

エイト入りを懸けた2回戦の情報科学高校との一戦は、第1セットは23対25の接戦で落としたものの、第2セットは終始リードを奪って25対17でタイに。流れは三刀屋に傾いたかに見えたが、第3セットではミスが重なり3点差で敗れ、惜しくも3年ぶりのエイト進出はならなかった。

卓球

島根県高校新人戦

(11/11、12、平田体育館)
 【男子】
 ▼団体予選リーグ
 1勝2敗

個人戦

3回戦進出 和泉僚
 2回戦進出 勝部佑一
 【女子】
 ▼団体予選リーグ
 0勝4敗
 ▼個人戦
 上位進出ならず

柔道

島根県高校新人戦

(10/29、30、県立武道館)
 【男子個人】
 ▼無段の部

優勝 景山祐夢(2年)
 【男子団体】予選リーグ
 三刀屋1・②松江工業
 三刀屋0・③平田B

雲南地区高体連体育大会

(11/2、三刀屋高校ほか)

総合第1位

1、2学期の校内球技大会の各種目で優勝または上位に進出したチーム(クラス)が出場した雲南地区5校による

高体連体育大会で、本校は1年生を主力としながらも圧倒的強さで総合優勝を飾った。
 (大会結果(本校分))
 ▼男子バレーボール
 2位(1年5組)
 ▼女子バレーボール
 1位(1年5組)
 ▼男子サッカー
 3位(1年3・4組)
 ▼女子卓球
 1位(1・2年選抜6名)



1年生主力でアッパレ総合優勝

パソコン同好会

総合学科全国大会の受付スピードアップに貢献

10月の総合学科全国大会では、参加者一人ひとりのIDカードに印字されたQRコードをタブレットで読み込む方法で、約350名の受付や弁当の受け渡し業務をスピーディーに行うことができた。

このシステムを構築したのが本校のパソコン同好会2名で、8月に出張した雲南地区(出雲アカレツジ)から講師を招いてアンドロイドプログラミングについて指導を受け、顧問の花岡教諭の指導も受けながら大会当日に間に合わせた。

今年も「スモウルビー」プログラミング甲子園」目指します(昨年度準決勝進出)

参加者の宿泊業務と弁当の手配に当たった旅行者から「スモウルビー」にできました。本当に助かりました。と喜んでいただいた。パソコン同好会のメンバーにとっては「役立ち感」を感じられる全国大会となった。
 今年も甲子園目指します
 また、今年度も「スモウルビー」プログラミング甲子園」出場をめざすメンバーは、11月12日(土)には同甲子園実行委員会から派遣された講師陣より丸1日の講習を受け(無料、写真)、さらには出雲コア学園の指導も10回予定されている。昨年以上の成績が残せるよう頑張っている。

3年間のキャリア教育で高めたコミュニケーション能力・表現力を活かします! UNNANディベート選手権

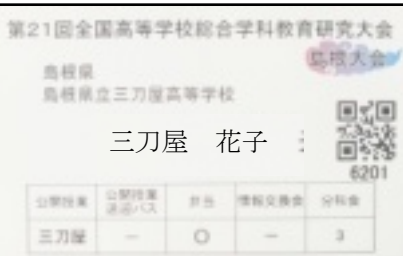
『選択的夫婦別姓制度の導入の可否』

高校の部(1チーム4名) ↓ 高橋和輝・定本大地・西村風輝・高野寛子



雲南市教育委員会が主催する第2回UNNANディベート選手権が11月19日、JR木次駅前のチェリパホールで開催され、三刀屋高校が1位となった。

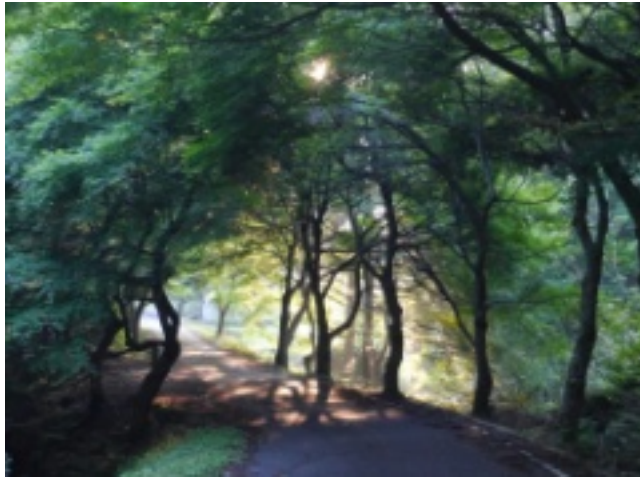
今年の大会は「日本は、選択的夫婦別姓制度を導入すべきである。是か非か」を論題とし、出場3チームが事前学習で収集整理した情報をもとに討論を行った。対戦ごとに各チームが否定と肯定の立場を変えながら立論・質疑・反論を行い、三刀屋高校が連勝して昨年の第1回大会に続いて1位となった。



IDカードの右端にあるQRコードをタブレットで読み込んで受付完了。



3名の生徒に講師も3名という贅沢な講習会(11/2、本校C I A教室)。



写真

第44回島根県高校

▼西部会場展 グラントワ 12月2日(金)~5日(月)
▼東部会場展 県立美術館 2月8日(水)~13日(月)

奨励賞「木漏れ日」 松崎 愛己(1年)

奨励賞に松崎さん(1年)

春と秋の年2回の写真コンクールで特選となった作品から出品する島根県高校写真展に、本校からは1、2年生の6点を出品。2年連続の全国大会出品推薦(1、2年生の5点)獲得はならなかったが、これにつぐ奨励賞に、松崎愛己さん(1年)のデジタルカラー作品「木漏れ日」(春季

ご案内

第49回島根県高校

美術展

▼グラントワ(益田市) 12月9日(金)~12日(月)

写真展



ビッグハート出雲で(10/29)

箏曲 優良賞

今年で15回目を迎えた標記コンクールがJR出雲市駅前

島根県高文連日本音楽部門コンクール

のビッグハート出雲で開かれ、本校箏曲部は「月下美人」(吉崎克彦作曲)を1年生4名、2年生3名の計7名で演奏し、優良賞となった。

演奏した曲は、芳香を放ちながら月下にゆつくりと咲き出し、その夜のうちに萎んでしまう月下美人の花の様子を表現したもので、一夜かぎりの華やかさと儂さを優しい箏の音色にのせて演奏した。大会前の一カ月は、中間試験後も2年研修旅行・1年地域産業研究実習が続き、ま

出雲大社で絵画コンクール

美術

高文連出雲地区絵画コンクール

10/24

出雲地区11校93名 本校から7名が参加



標記コンクールが出雲大社境内で開催され、出雲地区11校

の美術部員が参加し、思い思いの場所を選んで風景画を描いた。実質3時間半という短い時間の中で油絵を仕上げるのは大変だったが、天候にも恵まれ、平日にもかかわらず参拝客の多い境内で気持ちよく写生することができた(本校入選6名)。

文芸

高文連文芸コンクール

【詩部門】

▼「文鳥」 佳作 伊藤華恵(2年)

俳句部門

▽盆の日に指輪をなでて手を合わせ 優良賞
▽天草の落つる涙や虎が雨 佳作 伊藤華恵

放送

県高文祭放送部門松江地区予選

(11/16、ステイックビル)

高見さん(2年)

2位通過

(アナウンス部門)

来年7月末からの全国高等学校総合文化祭宮城大会につながる最初の関門、標記松江地区予選が11月16日に行われ、アナウンス部門で高見ひのめさん(2年)が2位の好成績で予選を突破し、12月の県大会進出を決めた(自作のアナウンス原稿は8頁に掲載)。

自然科学

自然科学部門研究発表会

(11/11、大東高校)

県内13校から70名の自然科学学系部員が参加した研究発表会に、本校からは2年生の4名が参加。本校の発表はなかったが、他校部員の口頭や展示による発表を見聞きして今後の活動の参考とした(写真)。
なお、他校の参加者は奥出雲町の多根自然博物館と奥出雲サイクリングターミナルに分宿し、翌日は鬼の舌震とたたら刀剣館を見学した。



学した。



高校写真展出品

「We have a dream」

鐘撞絵理(2年)

(秋季写真コンクール特選)



高校写真展出品

「君は太陽」

石橋冬也(1年)

(秋季写真コンクール特選)

コンクール特選作品)も選出された。

読書週間でした

10/27~11/9は読書週間でした。今年の標語は、

『いざ、読書。』



図書委員会

普段読書をしない人も気合を入れて本を手にとってみませんか。本をめくっていると、知らなかったことや自分の好奇心に気がつきますよ by司書さん

読書週間の図書委員会企画イベント

① 手作りPOPコンテスト

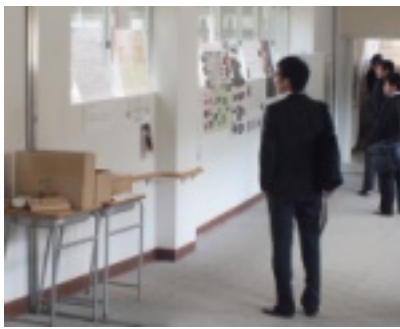
※11月末までの企画でした。結果は図書館だよりで発表の予定。



好きな本を紹介するポップ作品(昇降口で)

② 古雑誌市 11月9日(水)に実施しました「オレンジページ」「Number」「What's IN」「ナショナルグラフィック」「non-no」の今年上半期までの1年分を希望者に配布しました。

図書館 & 図書委員会の活動や展示(ディスプレイ)を絶賛
総合学科全国大会参加の皆様より



総合学科全国大会の初日(11/27)、来校者の受付場所となった体育館から教室棟への渡り廊下では、今年の文化祭で図書委員会が発表した「たたら製鉄の歴史」の展示に熱心に見入る姿があった。送風装置である天称輪(てんびんふいご)の原理を紹介する手作りのダンボール模型にも感心する声を聞いた。また、図書館での調べ学習(3年選択授業「20世紀現代史」)の授業参観者からは、「図書館には情報収集しやすい工夫が沢山あって参考になりました。入口のディスプレイも、思わず見入ってしまった。校内のいたるところに興味関心を引く掲示も多くて感心しました」との声をいただきました。

人権週間を迎えます

人権週間とは

国際連合は世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め、日本でも昭和24年から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚を図るため、全国各地でも集中的な啓発活動を行っています。

■本校では12月の人権週間に先だって、11月1日「しまね教育の日」にLHRで人権・同和教育の公開授業を実施しました。

【3年】…「話してくれてありがとう」～結婚差別から考える一学期の「公正な採用選考・公正な入学選抜」に続き、現実の社会に今なお残る結婚差別の具体的事例から、他人事ではなく自分自身が問題に直面した時にどのような行動を取るべきかを考えました。

【2年】…「『教科書無償化運動』に学ぶ」教科書無償化のために動いた人々の姿を振り返りながら、憲法に保障された権利を獲得するために連帯した人々の取り組みが、社会全体の利益につながったことを理解し、人権を守るための主体的な態度や行動の大切さを学びました。

【1年】…「居心地の良いクラスにするために、身の回りのことから考える」クラス全体で「できていること」と「できていないこと」を各自のワークシートや小グループ話し合いで確認し、「特にクラス全体で出来るようになると良いことは何か、それを実現するためのアイデア・方法」をKJ法で探りました(写真)。



第49回県総合美術展(県展)

彫刻部門

県知事賞に周藤教諭



やくもた かけ
「八雲立つ ~翔る~」
周藤 豊治 教諭(美術)

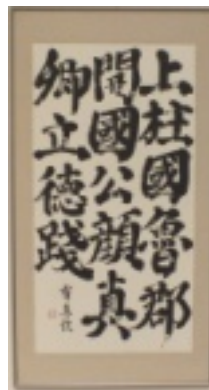
標記美術展が11月12日から松江市の県立美術館で開催され、7部門の入賞・入選作品497点が発表された。このうち、彫刻部門では本校の周藤豊治教諭(美術)の作品が、同部門最高の県知事賞を受賞。また、書部門では妹尾有真さん(3年)が若者を対象とするニューホープ部秀作に選ばれた。

(11/12~20、県立美術館)

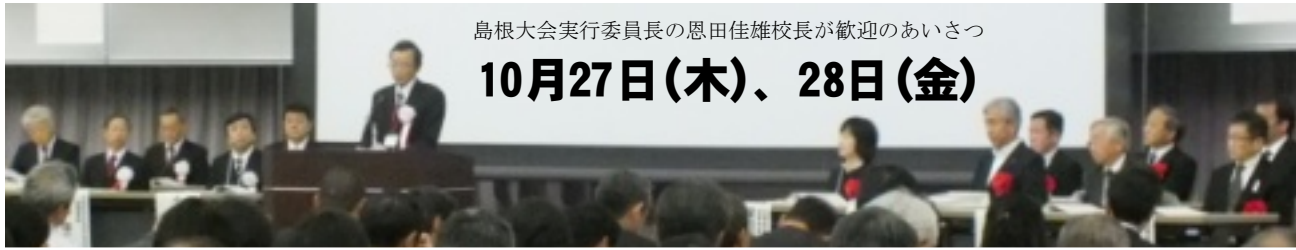
▼書部門

妹尾さん(3年)

「ニューホープ部」秀作



「建中告身帖」
妹尾有真(3年)



島根大会実行委員長の恩田佳雄校長が歓迎のあいさつ

10月27日（木）、28日（金）

全国大会 終了御礼

10月27日からの2日間、本校も会場となつて標記全国大会を開催しました。ご協力、ご支援を賜りました関係各機関、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

第21回全国高等学校総合学科教育研究大会

ダイジェスト

主催：全国総合学科高等学校長協会

代表生徒も全国の大舞台で堂々の発表



〈大会スローガン〉

夢をかなえる総合学科 新たなステージへ
～ 人と未来の縁結び ～

初日午前



松江から3台のバスに0名の皆さんに、体育館で恩田校長が本校の取り組み概要を紹介。



1年生は、10月の事業所インタシンシップの成果を含めてパワーポイントで「地域産業研究」の発表。



2年生もパワーポイントで、10月の東京研修の成果も含めて「課題研究」の発表。



図書館での調べ学習（3年）

3年生は通常授業の公開だったが、学校選択科目の参観者が多かった。写真は「20世紀現代史」。

↑初日午後の全体会場（くにびきメッセ国際会議場）
本校代表生徒2名も全体会場で「課題研究」発表



← 初日の9：30からは全クラスを対象に公開授業を実施し、特に1、2年生の発表形式の授業では、廊下にも人が溢れて授業参観

初日午後

全体会

① 歓迎の石見神楽上演
② 開会行事
③ 文部科学省講話
④ 全体発表（60分）

⑤ 記念公演
「空想の翼で駆けて」
「義肢装具作りの半世紀」
中村俊郎氏
（中村ブレイス代表取締役）

10月27日▼午前／公開授業：三刀屋高校、松江農林高校
▼午後／全体会：くにびきメッセ（松江市）
・講話（文部科学省）
・全体発表（県内4校代表生徒）
・記念講演（中村俊郎氏）
10月28日▼午前／分科会：くにびきメッセ（松江市）
・5分科会で他県を中心に2校ずつが発表

2日目

分科会

⑥ 開会行事
テーマごとに5つの分科会に分かれ、全国から参加の各2校ずつが研究発表を行った。このうち第3分科会では「キャリア教育・進路指導の在り方について」をテーマに、香川県と宮崎県の高校から取り組みが紹介された。総合学科の取り組みは学校ごとに特色があり、地域や学校の実情に応じて異なるものの、共通するのは、生徒の「道を拓く」主体的・アクティブな活動を模索し続けていることだ。本校も総合学科に移行して10年が経過したが、成果を検証しつつ修正を加えながら「社会に貢献しようとする生徒」（本校の目指す生徒像の一つ）の育成にあたりたい。

島大生36名×1年生131名

1年 「授業『大学』」

- <今回の流れ>
1. アイスブレイキング
 2. 大学に入ったら?
 3. 学生の話
 4. まとめ・共有
 5. 休憩
 6. ワーク
 7. アンケート
 8. まとめ

大学の授業ではありません

ディスカッションで

大学(学び)とは何かを語り合いました



データを整理するためのKJ法は、本校では1年次からさまざまな場面で活用する。大学でのKJ法を用いた学習場面では、本校卒業生がリーダーになることが多いとの報告がある。

▽KJ法とは：データをまとめるための手法。データをカード(付箋等)に記述し、カードをグループごとにまとめて図解し論文等にまとめる。発案者の文化人類学者の川喜田二郎のインシヤルからKJ法と呼ばれる。

出校日となった11月5日(土)の午後2時間、1年生は島根大学の学生36名を迎えて高大接続事業の一環として「授業『大学』」を受講した。大学の授業を受けるわけではなく、島根大学が企画するこのプログラムでは、高校生から学生への質問、学生からの経験談も参考にし、大学生が加わったグループディスカッションも交えて大学がどんな場所かを多角的に探った。日常の学びのモチベーションを高めるきっかけともなり、島大生にとっても、今後のライフプランを作成する本校生にとっても刺激の多い充実した時間になった。

道を拓く学びのモチベーションを高めるプログラム豊富な三刀屋高校です

平日の素顔のキャンパスを体感

P T A キャンパスツアー

11/7 (代休日)



生徒・保護者計22名が岡山大学・岡山理大を視察

2年

アカデミックインターンシップⅢ



県立大学出雲キャンパス(看護学部)では、実際の講義を学生とともに受講

全員が松江・出雲方面に分かれて学校訪問

- ▼島根大学松江キャンパス
- ▼山陰中央専門大学校
- ▼松江総合ビジネスカレッジ
- ▼松江栄養調理製菓専門学校
- ▼松江理容美容専門学校
- ▼島根大学出雲キャンパス
- ▼島根県立大学出雲キャンパス
- ▼出雲医療看護専門学校
- ▼トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校



島根大学総合理工学部で

2年生136名全員が11月22日、松江地区または出雲地区の上級学校を訪問した。高校入学以来3回目となるアカデミックインターンシップでは、通常のオープンキャンパスとは異なり平日の素顔の講義やキャンパスを体感し、学部・学科の説明を聞くだけでなく、訪問先によっては学生

予告

1年「地域産業研究」学年発表会を開催します

▼12月7日(水) 13時10分～15時45分

▼総合学科棟大講義室

1学期から「産業社会と人間」の授業で取り組んできた「地域産業研究」の成果発表を行います。各クラスの代表計17名の発表を、ご覧ください。左は当日発表者のテーマの一部です。

- 「雲南の医療と医師を家の近くに」
- 「空き家×運動不足の高齢者」
- 「森を遊び場に竹の利用法」
- 「ICT教育について」
- 「子育てしやすい環境づくり」
- 「高齢者と子供のかかわり」
- 「環境のいい保育所をつくる」
- 「雲南市役所と雲南に人が来るには？」

※保護者の皆様には別途文書でご案内しております

とともに実際の講義を受講した。大学や校種を問わず異口同音に聞かれるのが、「何を学び、何になりたいか目標をしっかりと持って入学して欲しい」との声だ。

アカデミックインターンシップは、学びたいことが学べる進路先を選択する力を養うことも目的としており、目標を持って学び、学ぶことが道を拓くことにつながることを意識したい。社会環境変化のスピードが早まる中、一生涯にわたる生涯学習の必要が高まる時代において、子どもだけでなく大人も意識したい。

雲南市ボランティアチャレンジ研修会

～出会い・つながり・未来へ～

雲南市社会福祉協議会職員の皆様4名
地域ボランティア活動実践の皆様4名

&三高生18名が「ボランティアを語り合う」



〈主催〉雲南市社会福祉協議会

雲南市でも色んな活動があるんですね。

- ▽郷原千恵子さん(音訳)
- ▽木色玲子さん(要約筆記)
- ▽小林和子さん(絵手紙)
- ▽須山治代さん(有償助け合い)

本校生も各方面からの依頼に応じて様々なボランティア活動に参加している(次頁参照)。ただ、どうしても休日の単発的な「イベントのお手伝い」の形が多い。

今回の研修は、高校生の目には触れにくいボランティア活動をもっと知ってもらおうと、雲南市社会福祉協議会が主催し、右に紹介する4名の皆様に来校していただき、活動の内容を紹介していただきました。また、ボランティアを始めたきっかけや、活動の現状と課題についても語っていた

雲南市社会福祉協議会が主催する標記研修会が11月18日(金)の放課後に本校で開催され、同協議会の皆さんのほか地域でボランティア活動を続ける4名の皆さんが来校し、本校生と小グループで雲南市のボランティア活動について語り合いました。

今回のお客様からいただいた深い言葉です！

- ▼自分が楽しくないとつまずきません。面白くないと続きません。
- ▼仲間に恵まれました。つきあいが広がりました。会うのが楽しみです。
- ▼かわわっているところが嬉しくて、自分が変わっていきます。
- ▼喜んでもらうことが嬉しくて、それが続ける力になっています。
- ▼「してあげた」と思わせたくなりません。してあげるではなく、相手にも楽しんでほしい、自分も楽しんでいきます。自分のための活動でもあるのでやめられません。
- ▼聴覚障がい者のための「要約筆記」の場合、講演等の際に即座に要約して手書き原稿をOHP投影したり、パソコン入力原稿をプロジェクトで映し出します。そのためには漢字はもちろん、講演内容を自分が理解するための幅広い教養と勉強が必要です。難しいと思ってしまう途中でやめてしまう人もいますが、やりがいがあるからこそ続けて欲しいです。



だくともともに、活動への理解と協力を高校生に呼びかけられた。

同様の研修会はすでに掛合分校では9月に実施し、大東高校でも冬休みのボランティア参加者を対象に12月に実施される予定だ。

第20回鳥根県高文藝放送部門松江地区大会アナウンス部門 音訳ボランティアについて

「視覚障がいのある人のために力になりたい。」これは雲南市社会福祉協議会の音訳ボランティアとして活動する力石さんの言葉です。

アナ原稿

「視覚障がいのある人のために力になりたい。」これは雲南市社会福祉協議会の音訳ボランティアとして活動する力石さんの言葉です。

第2位 高見ひのめ(2年)

設立時期は異なり、木次町のグループ「ともしび会」は昭和60年ごろに開設されました。現在、雲南市内で音訳ボランティア活動を行っている方々は81名、音訳CDを利用していらっしゃる方は18名だそうです。

「ボランティア」として活動することが楽しいです。利用者さんから『ありがとう』と言ってもらえるとても嬉しくて、こちらこそ『ありがとうございます』と思います。これからも微力ながら活動を続けていきたいです。」と話しておられました。ボランティアがもたらせる人々の思いが、これからは広がっていくことに期待です。

※高見さんの自作原稿です

放送部も

放送部も本紙で既報の通り、雲南市社会福祉協議会からのお誘いを受け、年4回発行の『社協だより』の音訳ボランティア活動に参加しています。

魚を提供する支援より、魚を釣る術を伝える支援活動



出雲高校の「職業人講演会」で講話する中曾先生(10/20)。



今も続ける国際貢献活動 by 中曾先生！

本紙1月103号でも紹介した本校の中曾先生は、青年海外協力隊員としての2年間のアフリカ・ルワンダでの体験をもとに、今も各地で講演を続けている。帰国後の報告

「講演」活動自体もJICA(国際協力機構)が勧める国際貢献活動の一環だ。多数派のフツ族と少数民族のツチ族との部族間対立から起こった1994年の百万人大虐殺。その悲劇を、実現不可能とも思われた「和解」によって乗り越え、新しい国作りをすすめる。今ではアフリカで最も治安の良い国となったルワンダの歩んだ道に、今こそ世界が学ぶべき時ではないだろうか。今学期は出雲高校と出雲商業高校にも出向いて講演を行った中曾先生の話を、あなたも聞いてみませんか？



演奏によって地域貢献する吹奏楽部

→五木田勉 文/高塚人志 監修
(2003年 アリス館)



先月の総合学科全国大会で、宮崎県立A高校からは、地域貢献活動(キャリア教育プログラム)が生徒を変え学校を変えていった事例が報告されました。特に印象深かったのは、児童の学習活動を支援するボランティアに参加した生徒が劇的に変わったとの事例でした。なげやりだった生徒が学習支援という形で児童とふれあい、「役立ち感」が自分と向き合うきっかけとなり、「自己肯定感」に



※ 島根県東部の全市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心 !!

三高新时代への胎動

地域とともに シリーズ 第27回 役立ち感



異世代との交流から生まれる役立ち感

つながったのではないかとの報告でした。道を拓くキャリア教育の成果が感じられました▼報告を聞きながら思い出した本が、本紙84号(平成26年5月発行)でも紹介した『自分が好きになつていく』です。鳥取県立赤崎高校(平成17年3月閉校)の生徒が園児や高齢者等、異世代との継続的交流に取り組んで成長していた記録が綴られています。キャリア教育の参考に一読をお勧めします。

演奏による交流

大人でも子どもでも、自分が社会に役立っているかもしれないと「役立ち感」を感じるのは、特に周囲に喜んでもらった時に実感できるものではないでしょうか。ノーベル賞受賞者であろうと高校生であろうと、みんなに喜んで(誉めて)もらうことが励みとなり、社会への貢献意欲が一層高まるのではないのでしょうか。

10/23はダブル出演しました

地域にも無くてはならない吹奏楽部です

「和みの郷・西日登ふれあい祭り」 & 「みとやっこまつり」 10/23



※前号コラム欄の「禁断の鹿実」の如く、周囲を元気に笑顔にする吹奏楽部の働きは、部員の「役立ち感」の源泉の一つです。

子どもたちとの交流2題



人生ゲーム「タイムカプセル」編↓

10月上旬の1年「地域産業研究」実習(事業所インターンシップ)の中で、地域話題を盛り



生徒制作の人生ゲーム 児童と楽しみました



園児が待っていてくれます

時々当番日忘れのお姉ちゃんがいるので、ごめんなさい。

8限授業の火曜日を除き、平日の放課後に子ども好きの三高生が二人ずつ交替で、三刀屋保育所でボランティア活動を続けています。(今年度16名登録)



三刀屋交流センターで

今春まで三刀屋の特別養護老人ホーム梅里苑への訪問を続けてきたJR

高齢者・地域との交流

C部が休部中なのは残念ですが、10月に同ホ

ムで開催された「長寿祭」には、男女6名がボランティアとして参加しました。また、口の筋肉を鍛えて競う笑える予防医療系の新感覚スポーツイベント「くちビルディング選手権」が全国四か所スタート。雲南市ではお馴染みの訪問看護ステーションコミュニケーションが中心となって11月6日(日)に初回を迎え、本校生9名も参加。2回目の12月3日の様子を含めて、詳細は次号で紹介します。

また、口の筋肉を鍛えて競う笑える予防医療系の新感覚スポーツイベント「くちビルディング選手権」が全国四か所スタート。雲南市ではお馴染みの訪問看護ステーションコミュニケーションが中心となって11月6日(日)に初回を迎え、本校生9名も参加。2回目の12月3日の様子を含めて、詳細は次号で紹介します。

また、「みとやっこまつり」当日は別のブースで、「人権カレンダー」作りをお手伝いする生徒6名の姿もありました。



↓「宇宙人。君の名は」編

ご協力いただいた「三刀屋地区町づくり協議会」のWEB頁アドレス

http://co-unnan.jp/ch-otona_log.php?logid=1514

2016年の三高レガシー

本紙編集部が選んだ…
未来への遺産

〈ふたつの全国大会〉

7月 全国高等学校総合体育大会ボート競技

(7/28~8/1)

10月 全国高等学校総合学科教育研究大会

(10/27~28)



雲南の課題

続報

獣害 イノシシが捕獲されました

前号では今年の熊の目撃情報が多さや、学校周辺での猪の害について報告したが、11

月14日には猪一頭が檻で捕獲される一方、20匹を超える猿の群も目撃された。



イノシシ一頭が捕獲された同じ11月14日、朝から直近の山から猿の鳴き声が聞こえ、昼休みの時間帯に20匹近い群れが現われ、三刀屋バスセンター裏手のお寺の柿が被害を受けた。

米国大統領選挙のトランプ候補は批判されども熱狂的支持者がいた。クリントン候補は優勢ではあっても、熱狂的支持者は少なかった。今回の選挙結果に人生訓を求めるならば、「劣勢ではあっても、熱狂的な少数が大きな力を生む」ことか。身を置く社会の条件は厳しく劣勢であっても、熱いチャレンジ精神を持った仲間つながりが、地域創生に繋がると願いたい。~そこで期待を込めて↓募集します!

募集します! 誰かいませんか?

1年次「地域産業研究」、2年次「課題研究」の一環として、本紙シリーズ「木次線今昔物語」「斐伊川今昔物語」の編集に参加してみませんか?

希望する皆さんは、職員室の総務部編集長に気軽に声をかけて下さい。(顔を知らない?下の似顔絵で探してください。)



木次線今昔物語 第5回

貨物(木炭) 輸送の盛衰

これからは何を運ぶ?

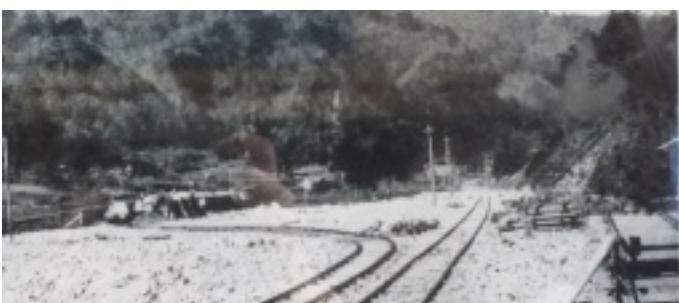
計10トンの砂鉄と12トンの木炭を三日三晩、30分ごとに交互に炉にくべると、炉の底に約3トンの鉄の塊ができる。その良質な部分が、日本刀の原料となる「玉鋼(たまはがね)」だ。この製鉄方法をたたら製鉄と呼んだが、外国から安価な鉄鉱石が流入し、大正時代にはたたら製鉄の灯が消えた▼たたら製鉄に使っていた大量の木炭の販売に活路を求めて、旧松江藩三大鉄師の流れをくむ

原武太郎氏(奥出雲町)を中心として百年前に建設されたのが民営簸上鉄道の木次線だった。今では想像できないほど貨車も走り、物資輸送を担った。特に木炭生産は島根の主要産業となり、1960年(昭和35年)の島根県の生産量は7万8千トンで岩手、高知に次ぐ全国3位。糸原家は首都圏にも支店を置き事業を展開したが、木次線の貨物発送トン数は1961年度の292トンとピークに、また到着トン数は1965年度の247

トンとピークに、以後はエネルギー革命やモーターゼーションの進展を背景として急速に貨物輸送が縮小し、「くにびき国体」に沸いた1982年(昭和57年)に木次線から貨物輸送が消えることとなった。普通旅客数の減少幅よりも、貨物量の減少幅が大きく早かった▼仁多郡境の下久野駅は、現在ではホームの片側にしか線路は走らないが、往時はホームの両側に列車が止まり、貨車には各地へと送られる木炭が満載される風景もあった。駅舎側の線路が撤去された今、レール跡地は写真のとおり業務委託を受けた地元の方々による「駅ナカ農園」に利用されている。

鉄道の話題ではないが、「岩手県北バス」は、盛岡市と宮古市を結ぶ長距離路線バスを改装して座席を少なすぎる一方、空いたスペースを利用して宅配業者が扱う荷物を運ぶことにより、廃線の危機を乗り越え注目されている。島根県内では自転車を積み込むことのできる一畑電車もある。今後、近隣の路線バスや木次線の列車でも、特に昼間の時間帯のデッドスペースを利用して、人以外のモノを運ぶ妙案はないかとも考えたい。高齢者の買い物代行したり、注文を受けた店舗がバスや列車に商品を積み込んで輸送を委ね、客の元(その近くの駅)へ送り出すサービスも考えられる。

何を運ぶ?



↑駅舎に飾られています↓



左上写真…駅舎の南側、今はない左に延びる引込線で貨車に木炭を積みこんだ(昭和4年撮影)。右上写真…駅舎とホームの間にあった線路は無くなり、跡地は「駅ナカ農園」となっている。左画…『最盛期の下久野駅全景』藤原謙氏(豊橋市在住)画。この絵のように、両側に線路が走るホームを「島式」と呼ぶが、現在は「島」ではなくなった。

2016年(平成28年)
丙申(ひのえさる)

本年もたいへんお世話になりました



2017年(平成29年)
丁酉(ひのととり)

良いお年をお迎えください



日	曜	学校行事等	部活等
1	木	期末試験3日目	
2	金	期末試験最終日 自動車学校入校説明会①	
3	土		
4	日	停電	
5	月		
6	火		
7	水	S.C	
8	木		
9	金	3年直前M模試	
10	土	土曜補習① 3年直前M模試	バスケ
11	日		バスケ
12	月		
13	火	中学3年生保護者対象学校説明会	
14	水		
15	木		
16	金	6限授業 3年直前M模試	
17	土	土曜補習② 3年直前M模試	柔道
18	日		柔道
19	月	全学年保護者面談(~28)	
20	火		
21	水		
22	木	終業式 学校評価(生徒) 人権意識調査(全学年) 3年直前M模試	
23	金	天皇誕生日 3年直前M模試	
24	土		吹奏楽
25	日		
26	月	3年冬期補習①	
27	火	3年冬期補習②	
28	水	3年冬期補習③ 3年直前M模試	
29	木	3年直前M模試 開寮	
30	金		

日	曜	学校行事等	部活等
1	日	元日	
2	月	振替休日	
3	火		
4	水	3年冬期補習④	
5	木	3年冬期補習⑤	
6	金	3年直前M模試	
7	土	3年直前M模試 開寮	
8	日		
9	月	成人の日	
10	火	始業式 課題テスト 学校評価(保護者分回収)	
11	水	人権・同和教育SHR	
12	木		
13	金	センター試験受験者集会	バスケ バレー
14	土	土曜補習③ 大学入試センター試験①	バスケ バレー
15	日	大学入試センター試験②	バスケ バレー 吹奏楽
16	月		
17	火	3年特別授業開始 ~3/10 3年小論講演会 S.C	
18	水		
19	木		
20	金	第3回英検1次	
21	土		
22	日		
23	月	1・2年進研学力テスト	
24	火	2年進研学力テスト	美術
25	水		美術
26	木		
27	金		
28	土	1・2年おろち模試	放送
29	日		放送 吹奏楽
30	月		
31	火		

お知らせとお願い (保護者の皆様へのお願い)

1 保護者面談について

- ・12月下旬からの保護者面談の実施について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- ・学年・クラスによって日時も若干異なります。後日、お子様を通じて担任よりご案内の文書を配布しますので、ご確認をお願いいたします。

2 学校評価について

- ・学校評価(保護者版)の実施について、ご協力をお願いいたします。12月22日(木)終業式当日に、お子様を通じて依頼文書を配布します。ご回答(提出)は、お子様を通じて3学期始業式の1月10日(火)をお願いいたします。

3 1、2年生の土曜補習について

- ・PTA主催の土曜補習を、期末試験後の12月10日より行います。欠席連絡については通常の授業日と同様にお願いしますが、事務職員不在のため早朝は電話が繋がりにくいことがありますのでご了承ください。



保健委員会、保健部からは感染症予防のための情報を「たより」を通じてたびたび発信しています。学校HPでもご覧いただけます。

さんこう 三高92年物語



第30回 雲南会 名称と支部

恩田校長が3年次の昭和49年（1974）年9月、

3日間の学園祭開催にあわせ、2日目の9月15日に創立50周年記念式典が盛大に举行された（当時は共通一次試験がスタートする前の時代であり、2学期始業式も昔ながらに9月1日、学園祭シーズンは遅かった）

- 50周年を前に新同窓会名が公募され、昭和48年の役員会で「雲南会」と決定し、記念式典の当日付で従来の「同窓会会則」から「雲南会会則」に代わった。年一回の総会は、三刀屋・木次・仁多・松江・出雲の5支部（周辺支部含む）の輪番によってしばらくは8月下旬に開催されていた▼昭和50年代に広島・名古屋・斐伊・鳥取の新支部が誕生し、創立60周年を迎えた昭和59年の記録によれば、当時の支部名は次のとおりである。
- 東京支部 ○大阪支部 ○松江支部 ○出雲支部 ○石見支部 ○大東支部 ○加茂支部 ○仁多支部 ○木次支部 ○日登支部 ○温泉支部 ○三刀屋支部 ○一宮支部 ○鍋山支部 ○雲見支部 ○掛合支部 ○吉田支部 ○頓原支部 ○斐伊支部 ○広島支部 ○名古屋支部 ○鳥取支部

その後、西日登・飯石・中野の各支部も誕生した。現在の雲南会は、21期卒業村雄一郎氏を会長に、計24支部で旧交を温めている。支部の中心となって活動してこられた方々の高齢化も進み、今後の支部運営が厳しいとの声も一部で聞かれ



→日登支部の皆様
雲南会の日登支部の総会が今年7月23日に開催され、あわせて玄関前の「蒼雲館」も見学いただきました。

今年の紅葉も見事でした



この木についてご存じない皆さんは、本頁シリーズ「三高90年物語」第1回「玄関前のユリノキ」（本紙平成26年5月発行第84号）を三高ホームページでご確認ください（写真は11/12撮影）。

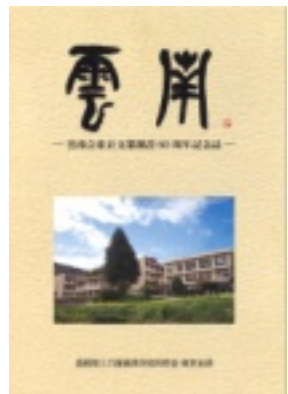
この木何の木？ 気になる木！



11/12、島根イン青山（東京都港区南青山）

祝 設立60周年記念 雲南会／東京支部総会 （11/12）

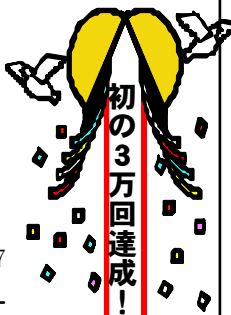
本校の同窓会である雲南会の東京支部（17期卒業佐佐木四郎支部長）の総会が東京都港区の島根イン青山で開催された。同支部が設立されたのは1956年（昭和31年）のことだ。



A4フルカラー版の豪華記念誌

60周年を迎えた今年の記念総会には東京都周辺の51名の会員のほか、雲南会本部から高校21期卒業長谷川眞二副会長、東京支部とともに還暦を迎える高校27期卒業恩田校長、高校43期卒業木教諭（体育科）も出席して支部の節目の総会を祝い、老若男女が高校時代の思い出話や近況報告に花

を咲かせる一日となった。今年6月に「鶴瓶の家族に乾杯」で、11月には「笑ってコラえて！日本列島ダーツの旅」でも三刀屋が登場し、卒業生や在校生の元氣な姿を伝えた人気番組の話題でも盛り上がった。



2年保健講話

「性について一緒に考えてみましょう」



講師：狩野鈴子氏（島根県立大短大部准教授）

編集後記

※10月の三刀屋高校ホームページへのアクセスが初めて3万回を越えました（1頁ごとに1カウントです）。編集作業の都合により、年内の発行は今号を最終とさせていただきます。本年も本紙をご愛読いただき、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。

大学入試センター試験まであと43日

<http://三高情報.怒涛のドット.満載「蒼雲」>

励ましあい、目標に向かって最後まで頑張ります。